

## クラフツバリー8392/シェルバーン8372 ガスケット

|                    | クラフツバリー8392         | シェルバーン 8372         |
|--------------------|---------------------|---------------------|
| フロントドア             | 3 / 8" LOW x 160 cm | 1 / 2" x 180 cm     |
| ガラス                | 1 / 4" x 150 cm     | 3 / 8" LOW x 160 cm |
| 触媒アクセスパネル（背面口元）    | 1 / 4" x 60 cm      | 1 / 4" x 60 cm      |
| ガラスクリップ用ガスケットセクション | 2 枚（4 個分）※          | 4 枚                 |

※クラフツバリーのガラス用ガスケットセクションは半分にカットして使用します。

### ハースストーン純正ガスケット

| サイズ | 1 / 4"<br>(6.4 mm) | 3 / 8" LOW<br>(9.5 mm) | 1 / 2"<br>(12.7 mm) | ガラスクリップ用<br>ガスケットセクション |
|-----|--------------------|------------------------|---------------------|------------------------|
| 品番  | 3110-056           | 3110-057               | 3110-051            | 3120-021               |

**用意するもの：** ガスケットボンド、はさみ、ドライバー、ワイヤーブラシ、作業用手袋、潤滑スプレー（必要に応じて）、5/32" または 4 mm六角棒レンチ（触媒アクセスパネル）

**始める前に** 必ずストーブが冷めた状態で作業してください。

### <フロントドアを外して行う場合>

ドアを外し、テーブルやワークベンチの上に置きます。表面を傷つけないようやわらかい布などを敷いて保護してください。

### ガラス用ガスケット

1. ガラスクリップを外します。（ネジが錆びついて外れにくい場合は潤滑スプレーを塗布後しばらく置いてから外します）外したクリップ、ネジはなくさないようご注意ください。ガラスを慎重に外し、横に置いておきます。表と裏を間違えないよう印を付けるなどしてください。
2. 古いガスケットを取り除き、溝に残った汚れをワイヤーブラシで落とし、きれいに拭き取ります。
3. 新しいガスケットがシール付の場合、接着剤は不要です。ガスケットについている剥離紙を少しずつはがしながら、シール面を溝のほうへ、ガスケットを溝に押し込むように装着します。ガスケットは引っ張らず、一周したらガスケットが重ならないように、余分な分はカットしてください。
4. クラフツバリーをご使用の場合：ガラスクリップ用ガスケットセクションを半分にカットします（シェルバーンにはそのまま使います）ガラスをドアにセットし、クリップとネジで固定します。クリップとガラスの間に、ガラスクリップ用ガスケットを装着してください。ネジをきつく締めすぎないようにご注意ください。ガラスは熱で膨張しますので、きつく締めすぎるとヒビや破損の原因となります。

## クラフツバリー8392/シェルバーン8372 ガスケット

### フロントドア用ガスケット

1. 古いガスケットを取り除き、溝に残った汚れをワイヤーブラシで落とし、きれいに拭き取ります。
2. 溝にガスケットボンドを塗布します。量の目安は溝高の3分の1程度です。  
ボンドのつけ過ぎにご注意ください。ガスケット全体にボンドが浸み込むほどつけてしまうと、ガスケットが硬くなり、ドアが閉めにくくなる場合があります。
3. そのまま10～15分ほど置いてボンドの粘着力が増してきたら、ガスケットを溝に押し込むように装着していきます。新しいガスケットがシール付の場合、ガスケットについている紙を少しずつはがしながら、シール面を溝のほうへ装着してください。（ドアの蝶番側の中央から開始するのが一般的です。コーナーから開始するとガスケットがはがれやすくなります。）ガスケットは引っ張らず縮めず、一周したらガスケットが重ならないように、余分な分はカットしてください。
4. ドアを外して作業した場合には、ドアを本体に取り付けてください。
5. ドアを閉めて固定します。

#### 注意

- ※ 粘着テープ付のガスケットロープの場合でも、粘着力の弱いときはガスケットボンドで接着することをお勧めします。ガスケットについている剥離紙は必ず剥がしてお使いください。
- ※ ボンドのつけ過ぎにご注意ください。ガスケット全体にボンドが浸み込むほどつけてしまうと、ガスケットが硬くなり、ドアが閉めにくくなる場合があります。
- ※ スプレー式の液状ガラスクリーナーをお使いの場合は、吹き付けた液体がたれてドア下部にたまり、サビやガスケット硬化の原因となりますのでご注意ください。
- ※ ガスケットを交換後は、ドアが閉まりにくくなる場合があります。なじんでくるまでは、ドアを閉める際にドアをしっかり押し込んでからハンドルを回すようにしてください。解消されない場合には、ドアラッチの調整が必要となる場合があります。

ラッチの調整（詳しくはラッチキット技術資料 [93-73920] をご参照ください）

ドアが閉まりにくい場合には、スペーサー（品番：4700-0790）を1枚ずつ追加していくことで調整可能です。

